

「絆つむぎプラン」の作成と活用を通して

児童相互の好ましい人間関係を育もう

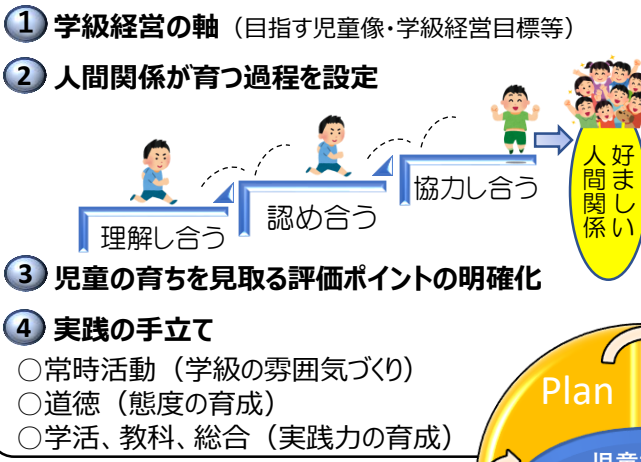
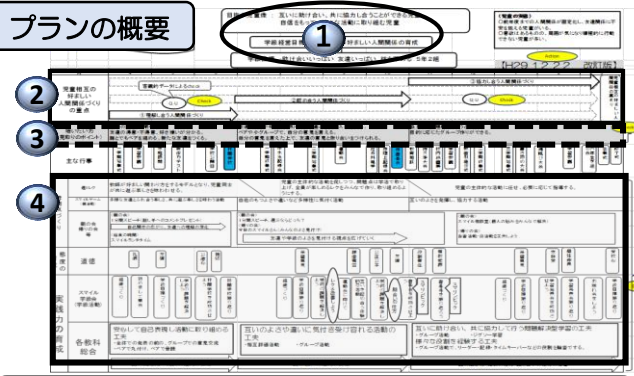
研究の概要



児童相互の好ましい人間関係を育むために、学級経営年間計画を作成し、教育活動を有機的に関連付けて実践します。実践では、意図的・計画的に二種類のPDCAサイクルを取り入れます。この一連の流れを年間を通して行うことで、学級経営を機能させ、より効果的な指導が期待できると考えます。

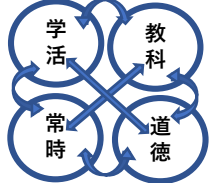
手立て1 学級経営年間計画「絆つむぎプラン」の作成

児童相互の好ましい人間関係づくりの視点から、教育活動を見直し、プランを作成しました。

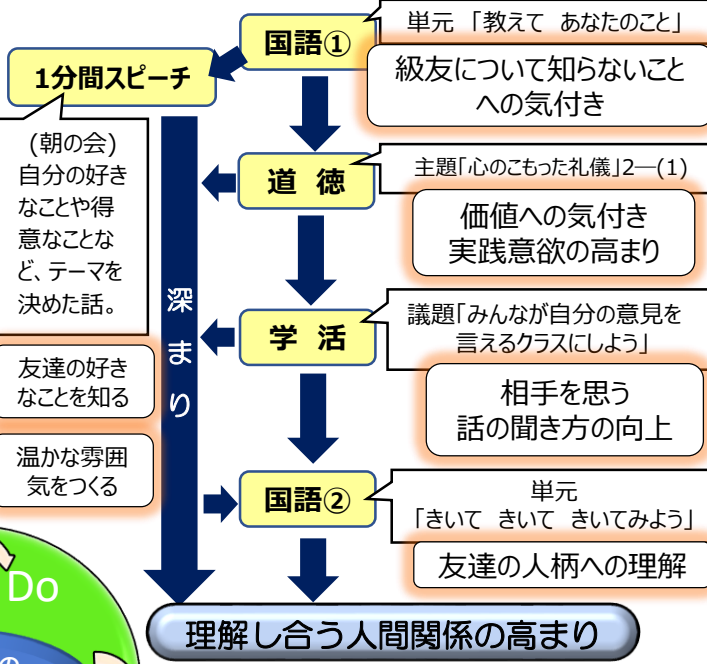


手立て2 教育活動を有機的に関連付けたプランの実践

児童相互の好ましい人間関係づくりの視点から、学級内で展開される教育活動(常時活動、道徳、学活、教科、総合)を、時期を合わせて相互に関わらせながら実践します。

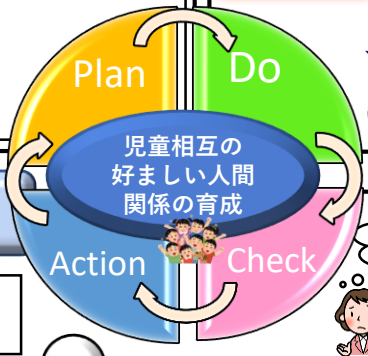
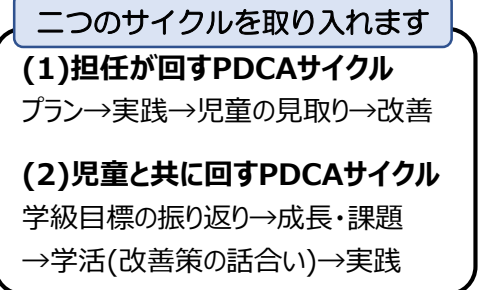


「理解し合う人間関係づくり」での一例

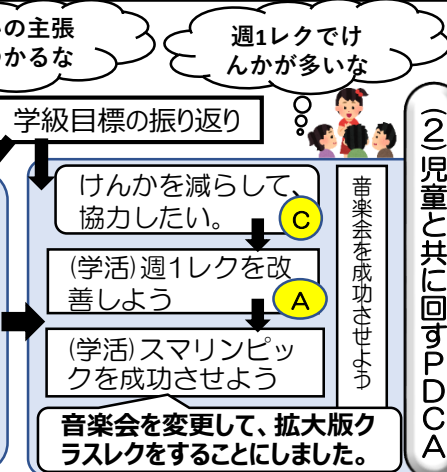
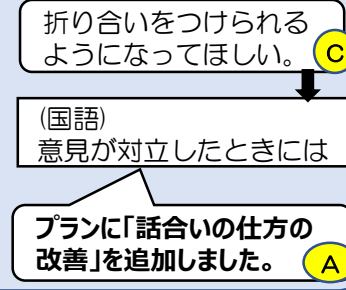


手立て3 PDCAサイクルを取り入れたプランの活用

その時々の子どもの育ちの状況を見取って、プランを柔軟に変えます。



① 担任が回すPDCA



実践内容



小学校5年生の
実践を紹介します。

学級経営

平成29年度 前橋特別研修研究員
前橋市立細井小学校 新谷奈津子

1 学級経営年間計画「絆つむぎプラン」の作成

「手立て1」をご覧ください。

2 教育活動を有機的に関連付けたプランの活用 ~ 理解し合う人間関係づくりの一例 ~

国語 道徳 → **学活** → **朝の会「1分間スピーチ」** → 国語

実践

「話し合いのルール」が決まりました。

「安心できる話の聞き方」ルール

- ① 相づちをうとう。
- ② 話は最後まで聞こう。
- ③ 友達の発言に反応しよう。
- ④ スマイル言葉を使おう。
- ⑤ 相手を責めない。

友達の話に相づちをうってみよう！

友達が安心してできるように、やさしい言葉をかけてみよう。

少年野球で、温泉に行きました。温泉に入ってカラオケして、また温泉に入ってゲームして…

うんうん！
えっ！

肯定的な反応

5回も温泉に入ったの？！

カラオケでは、何を歌ったんですか？

意欲的に聞く姿
自由に温かな雰囲気

私も伊香保で温泉入ったよ！

感想ありがとう。嬉しいよ。

聞き上手なクラス・話しやすいクラスに変容していきました。

「話し合いのルール」

理由をつけて、意見を言おう。

意見が伝わったことを言葉で伝えよう。

意見に反対しても、友達は否定しない。お互いの意見のよさを生かして、結論を出そう。

実践

友達の話に相づちをうってみよう！

友達が安心してできるように、やさしい言葉をかけてみよう。

少年野球で、温泉に行きました。温泉に入ってカラオケして、また温泉に入ってゲームして…

うんうん！
えっ！

肯定的な反応

5回も温泉に入ったの？！

カラオケでは、何を歌ったんですか？

意欲的に聞く姿
自由に温かな雰囲気

私も伊香保で温泉入ったよ！

感想ありがとう。嬉しいよ。

聞き上手なクラス・話しやすいクラスに変容していきました。

3 PDCAサイクルを取り入れたプランの活用~認め合う人間関係づくりの一例「スマリンピックを成功させよう」~

教師が追加したプラン

追加した項目です。

意見の対立を恐れず、互いを尊重して意見を出し合う大切さを考えさせました。

意見に反対しても、友達は否定しない。お互いの意見のよさを生かして、結論を出そう。

意見が伝わったことを言葉で伝えよう。

理由をつけて、意見を言おう。

意見が伝わったことを言葉で伝えよう。

学活「話し合い」の場面

いい意見だから、ぼくが説明を手伝うよ。

大丈夫だよ。心配しないで！

質問を自分への否定と捉えることなく、周りの児童も、友達を助ける姿が見られました。

質問に上手く答えられないよ。

学活「折り合いをつける」場面

テレビの脱出ゲームもやってみよう。

合体させて、クイズに正解したら、つかまった泥棒がにげられるようにしよう。

二択の発想にとられず、みんなが楽しくて協力できるという視点で考え、オリジナルのゲームを作り上げました。

学活「スマリンピック」の場面

問題発生

先生は、俺たちに任せるって言うってじゃん！

先生、どうしますか？

たくさん捕まったけど、仲間が助けに来てくれて、嬉しかった。改善策も自分たちで考えられたし、協力でできて、楽しかった。

みんなで相談して、自分達で協力できたことの達成感・成就感を多くの児童が感じたことが分かりました。

「協力し合う人間関係」の形成へ移行

成果

〈手立て1〉意図的・計画的に実践できたことで、トラブルに対処する消極的な指導から、人間関係を積極的に育てる指導へと転換できました。

〈手立て2〉教育活動の有機的な関連付けは、児童の思考をスムーズにしたり、意欲を高めたりすることにつながり、好ましい人間関係の形成に有効でした。

〈手立て3〉二つのPDCAサイクルを取り入れ、学級の実態や児童の意識に応じた手立てを講じたことにより、児童は自分事として活動に取り組み、学級に好ましい人間関係が育まれました。